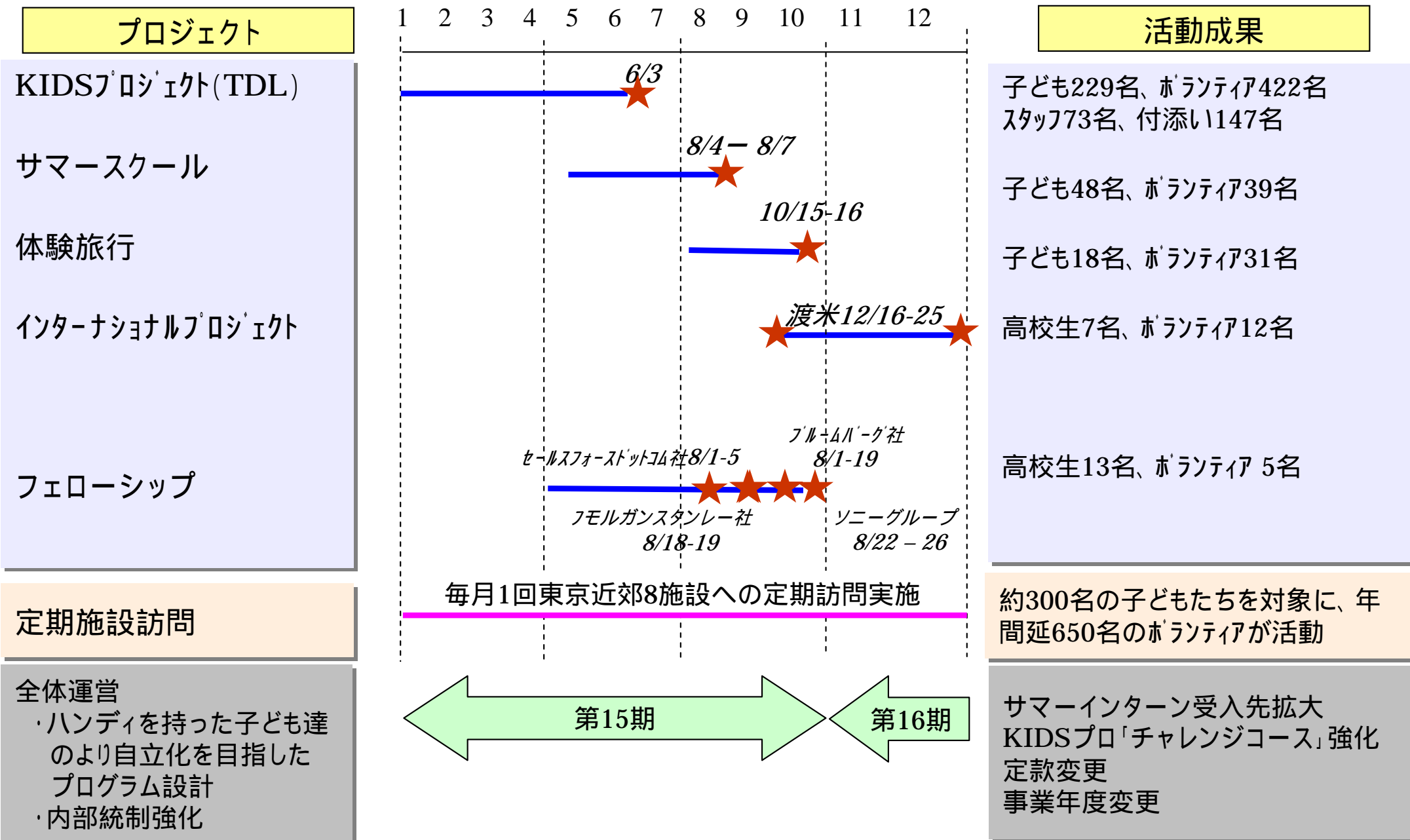


第15期(2005年度) 事業報告

KIDS 第15期(2005年度)活動オーバービュー



KIDSプロジェクト2005活動報告

- ディレクター： 小酒 英義
- 開催日時： 2005年6月3日(金)
- 参加者数： 子ども229名、ボランティア422名、付添い子ども27名、付き添い大人120名
スタッフ73名。総勢871名
- スローガン： 「いっばいの笑顔で 素敵なおいでを！」
- 狙い： 障害をもった子ども達とボランティアの継続的交流を目指す
きっかけ作り。
- 主な活動内容
 - 身体的または知的障害を持った子どもだけを参加対象とした。
 - 初参加の方に重きを置いたボランティア説明会の実施
 - 付添い者がいない子ども達とボランティアだけの「ひとり立ちグループ」を設定
 - 自宅からの送迎をする「チャレンジコース」を設定
 - 広報活動を通じてボランティア活動を社会へアピールできた。

活動の効果

新たな多くの子どもたちとボランティアに出会いの場を提供
ボランティアへの積極的な働きかけにより、その後の継続ボランティアが増加
子どもたちに自立心や社会性を養う機会を提供することができた

- ディレクター： 尾崎 雄大
- 開催日： 2005年8月4日～8月7日 高校生リーダー研修会：2005年6月11日
事前交流会：2005年6月25日 事後交流会：2005年9月10日
- 開催場所： 国立赤城青年の家
- 参加者数： 子ども：48名、ボランティア：39名 合計：87名
- 狙い： 子どもたちとボランティアが自然の中で共同生活を行うことで、子どもたちの社会性・自立性・協調性を育成する
- 主な活動内容
 - 参加募集枠の多様化(自立を目指す身体的ハンディを持つ子ども達を昨年同様募集)
 - 大自然の中での共同生活(飯盒炊飯、ウォークラリー、自然観察、キャンプファイヤー等)
 - 事前・事後交流会、高校生スタッフ(大人スタッフ同等に扱う)研修会の開催

活動の効果

障害児と健常児に何の壁もないことを参加者全員が理解できた
 子どもたちの社会性・自主性・協調性の育成
 参加スタッフ間の信頼関係の強化



KIDS-GEインターナショナルプロジェクト2005活動報告(進行中)

- ディレクター: 西田 有一
- 開催日時: 2005年9月19日 ~ 2005年2月25日 (うち渡米期間2005年12月16日 ~ 25日)
- 主催: KIDS-GEジャパン株式会社
- 場所: Give Kids The World (アメリカ・フロリダ州オーランド)
- 参加者数: 高校生7名、スタッフ12名(うち渡米スタッフ5名)
- 狙い: 高校生が直接心のこもった奉仕活動をすることで、難病の子どもたちへ生きる力を注ぎ込み、同時に自分たちは生きることの大切さ、やりがい、生きがいを認識させる
- 主な活動内容
 - 3ヶ月の準備期間中、毎週末の英会話レッスン及び文化交流発表の練習
 - GE elfunのボランティアの方々との交流イベント
 - Give Kids the Worldで次のことを実施した。
 - 朝食のサーブその他、GKTWの子どもたちへの奉仕活動(午前中)
 - 踊り/演劇/折り紙のパフォーマンス、日本文化紹介(夜)
 - GEの現地社員の方々との交流

活動の効果

奉仕活動を通して、思いやりの心の習得
日本文化の再認識、アメリカ文化の体験
英語力の向上と集団の中でチームワークを作るための精神的な成長



KIDSフェローシップ2005活動報告

- ディレクター： 丹野 幸敏
- 主催： KIDS / ブルームバーグL.P社、セールスフォースドットコム社、
モルガンスタンレー、ソニーグループ
- 活動日時、場所、参加者数：

8/1 ~ 8/5(平日)	セールスフォースドットコム社(IT、恵比寿)	第2回 女子高校生3名
8/1 ~ 8/19(平日)	ブルームバーグLP社(金融情報、丸の内)	第3回 男女高校生4名
8/18 ~ 8/19(平日)	モルガンスタンレー(金融関係、恵比寿)	初回 女子高校生2名
8/22 ~ 8/26(平日)	ソニーグループ(製造業、木更津)	初回 男女高校生4名
- スタッフ数： KIDSスタッフ 10名
- 狙い： 児童養護施設等に在住の高校生(一部活動に中学生も参加)を対象に、
就業体験の機会、および将来の自立、仕事やキャリア形成について考える
きっかけを提供する。
- 主な活動内容
 - オフィス内での一般事務, サポート業務, 営業外回の同行, 電気製品の信頼性評価などを体験
 - インターンシッププログラムで学んだ研修成果や働くことの意義についてプレゼンテーション
 - 社会に巣立つ準備としてマナーの基礎の習得

活動の効果

昨年のブルームバーグ, セールスフォースドットコムに加え、モルガンスタンレー, ソニーグループに
新たに協力頂き、子どもたちの体験の場が広がった。
高校生達は1週間または3週間を無遅刻無欠勤で無事インターンシッププログラムを修了。
学校生活やアルバイトでは経験できない、職務責任の重さや厳しさを体験し、働くことの意味を考えることが
出来た。当初は大変苦勞をしたが、多くの職場の人々とコミュニケーションが出来るようになった。
すばらしい人々との出会いを通じて、各自の将来について真剣に考える機会を得たこと。

- ディレクター： 丸川 雄
- 開催日時： 2005年10月15日～16日(一泊二日) 事前交流会：2005年8月28日
- 開催場所： 静岡県朝霧高原 宿泊先：県立野外活動センター
- 参加者数： 子ども18名、ボランティア31名
- 狙い： 子ども達とボランティアが自然の中で共同生活を行うことで、子ども達の社会性・自立性・協調性を養う。
- 主な活動内容
 - 知的・身体的な障害を持った子ども(小学生～高校生)が、親元を離れ、ボランティアスタッフと一緒に1泊2日の旅行をする。
 - 自然の中でのウォーラー、ネイチャークラフト、牧場での酪農体験を実施。

活動の効果

親元から離れた旅行体験を通して、自立性を伸ばせた
酪農体験やさまざまな体験を通して、社会性を養えた
ボランティア初心者も「やってみればわかる」という精神を体得できた。

- ディレクター： 富岡 和広
- 日時： 通年
- 参加者数： 対象となる子ども約300名、延べ参加ボランティア(1月～9月)487名
(年間約650名相当)
- 狙い： 子どもたちとの毎月の交流を通して、子どもたちに対する持続的、継続的
社会教育を実現する
- 主な試み
 - 訪問先は、現在8施設。6施設には毎月1日ずつ定期的に訪問を実施。
 - 昨年度に不定期化した「今井城学園」は3月から、「宮代学園」は7月から毎月の訪問になり活性化が実現。
 - 「くらき」「茨城育成園」は依然として不定期活動である。
- 課題
 - 訪問先施設により活動の活発さや参加ボランティア人数の格差が広がってきている。
 - 定期訪問リーダーの継続的な育成が必要である。

活動の効果

子どもたちとボランティアとの継続的な活動の定着
各種プロジェクトと定期訪問との連携強化
企業とのコラボレーション活性化

- 理事： 丹野幸敏、山本美樹夫、藤本 茂、桜井 祥一、富岡 和広、森本 健、
徳久正清、関口 剛、桜井敬貴
および各プロジェクト・ディレクター、および資金、広報、データ担当リーダー、
オフィス担当
- 運営委員会： 毎月1回開催
- 活動方針： 事業年度の変更に伴う諸手続き、及び内部統制の強化(理事会、運営委員会の
位置づけの見直しなどを含めた定款の見直し、登記上と実運営上の不整合
部分の精査)、個人情報の取り扱い基本方針の策定などを活動方針としました。
- 機能： KIDS全体運営ビジョンの策定、企画計画承認、各種活動実施推進、資金管理、
対外活動、運営諸実務、および運営上の課題対応
- 主なアウトプット
 - 年間活動報告・計画書
 - 各プロジェクトの運営管理
 - 企業コラボレーションなどの推進
 - KIDSオフィス運営
 - KIDSホームページの活用
 - 理事改選

Contact Us

KIDSオフィス：

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-2-202

TEL/FAX: 03-3356-4856

ホームページ: www.kids-npo.com

Email: kids_tm@hotmail.com

特定非営利活動法人 KIDS 代表者 丹野 幸敏



KIDS 2005年度決算報告(2005年1月～2005年9月)

現金(余剰金) **822万円** (2004年12月31日時点)

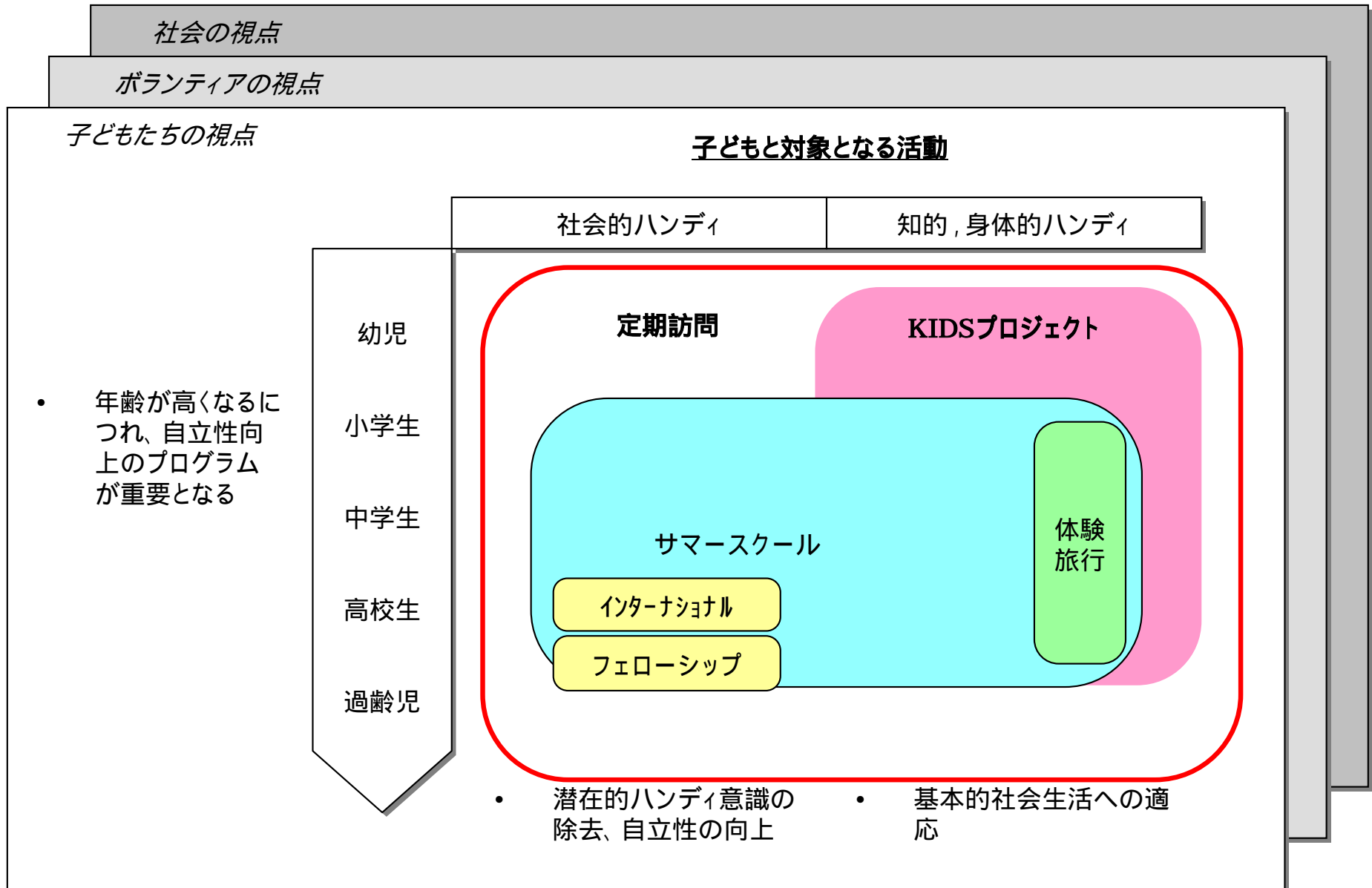
		予算	(参加費)	実績	収支
収入		920万円	(528万円)	1,114万円	334万円
内訳:	協賛金・寄付金他	900万円		580万円	320万円
	参加費		(528万円)	(528万円)	(528万円)
	会費	20万円		6万円	14万円

		予算	(参加費)	実績総額	持ち出し実績	収支
支出		990万円	(528万円)	1,057万円	492万円	462万円
内訳:	KIDS	200万円	(450万円)	583万円	133万円	67万円
	施設定期訪問	50万円	(22万円)	66万円	44万円	6万円
	フェローシップ	30万円		0万円	0万円	30万円
	サマースクール	90万円	(57万円)	126万円	69万円	21万円
	インターナショナル	240万円		36万円	0万円	204万円
	体験旅行	30万円		0万円	0万円	30万円
	シンポジウム他	50万円		0万円	0万円	50万円
	一般支出	300万円		246万円	246万円	54万円
収支		70万円		57万円		

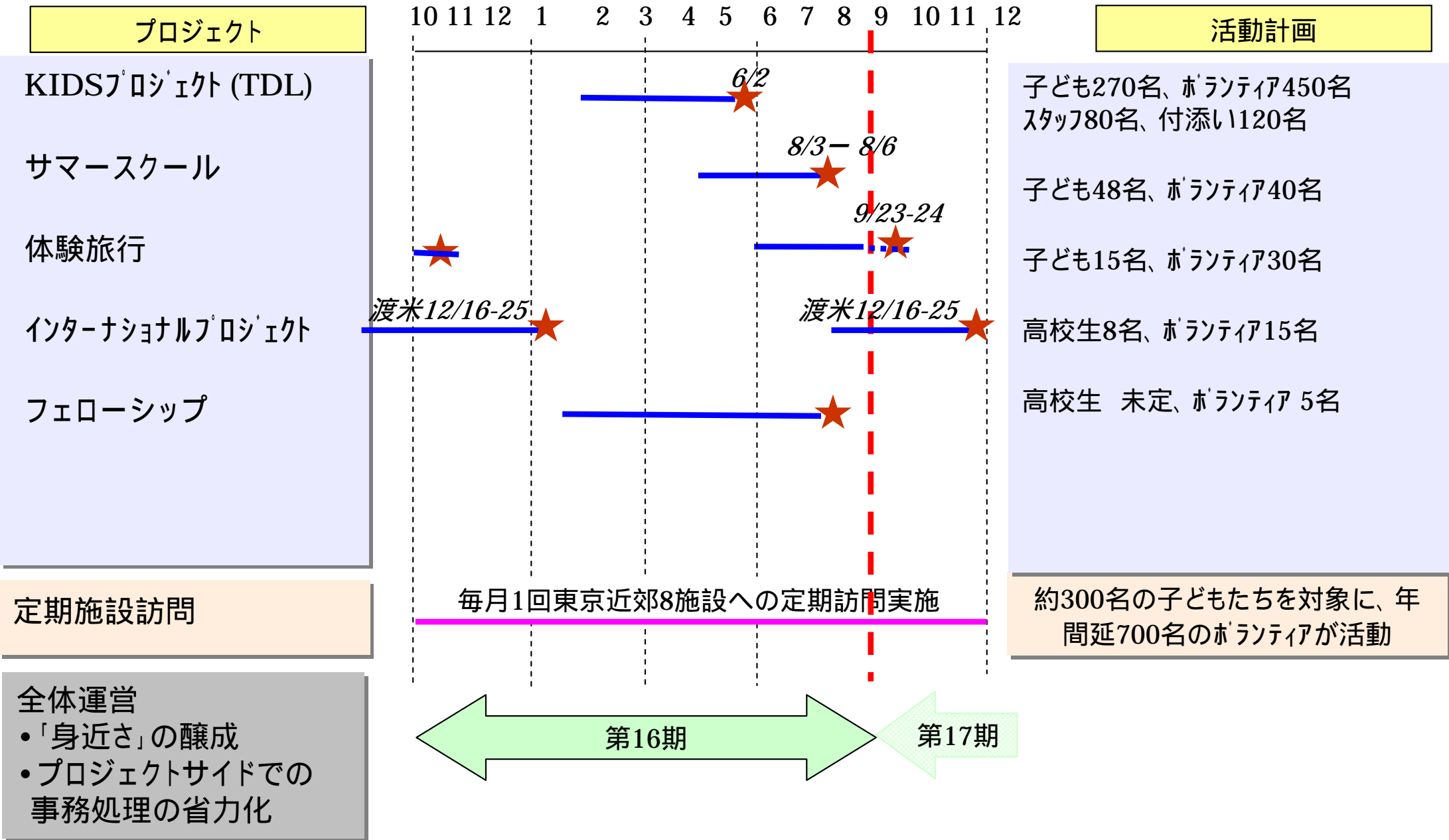
次年度繰越 **879万円**

第16期(2006年度)

活動計画



KIDS 第16期(2006年度)活動オーバービュー



	理事会	運営委員会	スタッフミーティング
機能	<ul style="list-style-type: none"> ■社会的視点 ■KIDS全体方針 ■年間活動計画 ■年間活動報告 ■予算作成 ■対外活動 ■課題整理・解決策 ■財務管理 	<ul style="list-style-type: none"> ■運営的視点 ■活動実績管理 ■プロジェクト承認 ■プロジェクト推進 ■課題抽出・解決策実施 ■会計処理 ■スタッフィング 	<ul style="list-style-type: none"> ■活動に関する各種情報シェアリング ■各種ディスカッション ■スタッフ間コンセンサス作り ■活動上の課題や新たな活動のセンシング ■会計処理 ■結束力向上イベント
参加	<ul style="list-style-type: none"> ■理事 ■監査役 	<ul style="list-style-type: none"> ■理事 ■各プロジェクト・ディレクター ■定期施設訪問ディレクター ■各アドミ・リーダー 	<ul style="list-style-type: none"> ■スタッフ全員 ■会員 ■非会員の傍聴可能
開催	<ul style="list-style-type: none"> ■随時 	<ul style="list-style-type: none"> ■月1回 	<ul style="list-style-type: none"> ■月1回 ■毎月第3土曜日

- ディレクター： 未定
- 開催日時： 2006年6月2日(金)
- 参加者数： 子ども270名、ボランティア450名、付添い120名、スタッフ80名

- スローガン： 「未定」
- 狙い： 障害をもった子ども達とボランティアの継続的交流を目指すきっかけ作り。および、外出の機会が少ない子ども達に社会参加の機会を提供する。

- 主な試み
 - 身体的または知的障害を持った子ども達、難病による闘病生活のために普段外出の機会が少ない子ども達を参加対象とする。
 - 養護施設在園の高校生にボランティア体験の場を提供する。
 - 広報活動を通じてボランティア活動を社会へアピールする。
 - プロジェクト終了後に参加者に報告書を送付する。

- KIDS予算： 250万円
- 参加費(予定)： 子ども 2,000円、付添子ども4,000円、付添大人7,000円、ボランティア 6,000円



KIDSサマースクール活動計画

- ディレクター： 相澤 重義(予定)
- 開催日： 2006年8月3日～8月6日 事前交流会 6月24日 事後交流会 9月9日
- 開催場所： 未定(「那須甲子少年の家」を検討中)
- 参加者数： 子ども48名、スタッフボランティア40名

- 対象： 社会的または身体的にハンディキャップを持った小学生から高校生
- 狙い： 親元から離れたキャンプ生活、グループ活動を通じて、社会性や協調性、積極性を育む。

- 主な試み
 - キャンプ生活によるグループ活動や共同生活の体験
 - 自然あふれる環境での学習体験
 - 子どもたちによる自炊
 - 事前、事後交流会の実施

- KIDS予算： 90万円



KIDS-GEインターナショナルプロジェクト活動計画

- ディレクター： 未定
- 日程： 2006年12月(10日間)
- 場所： 米国
- 参加者数： 子ども8名、スタッフボランティア15名程度

- 狙い： ボランティア活動を通じた日米交流を実践し、
自主性、積極性、社会的自立の芽を育てる
様々な人との関わり合いの中から自己を表現することを学び、
また、他者への理解も深める
グローバルな視点を身につける、
ことを目的とする。

- 主な試み
 - 3ヶ月以上にわたり各週末行われるエデュケーション・プログラムへの参加
 - 事前異文化研修、英語研修 (GE社ボランティアによる英会話特訓)
 - 米国でのボランティア活動 (Give Kids The Worldでの奉仕活動)

- KIDS予算： 120万円
- 参加費(予定)： 子ども1万円、スタッフ5万円



KIDSフェローシップ・プログラム活動計画

- ディレクター： 未定
- 日程： 通年
- 参加者数： インターンシップ(就業体験)：高校生15名、接遇講座：中高生30名
才能支援制度の創設：若干名、スタッフボランティア5名
- 狙い： 子どもたちの自主性、社会性を養い、将来の自立準備に向けた活動を展開、強化していくと共に、加えて子どもたちの秘められた才能の発見と開発、促進のため、支援制度を創設する。
- 主な試み
 - インターンシップ対象の子どもたち、協力企業の拡大
既協力企業(ブルームバーグ、セールスフォース・ストットコム、JAL、モルガンスタンレー、ソニーグループ)に加え受入企業を拡大すると共に、多様な高校生の受入にも応えるプログラムとする
 - 「習い事、資格サポート制度及び奨学金(才能支援制度 - 仮称)」の創設
通常では趣味や習い事、資格取得が困難な状況にある子どもたちを資金・制度面でサポートすることで、豊かな心や将来の糧となる能力を育む。また、趣旨に賛同する企業等へ働きかけ、基金及び制度を構築し、KIDS Ability School構想の一部とする。
 - 高校生自主企画活動の継続・促進
高校生による自主企画(継続型、スポット型)をニーズに応じてサポートする。
- KIDS予算：30万円



KIDS体験旅行活動計画(第17期活動として)

- ディレクター： 陣内一喜
- 開催日： 2006年9月23日～24日(一泊二日)

- 開催場所： 朝霧野外活動センター(仮予約済み)
- 参加者数： 子ども15名、スタッフボランティア30名 程度

- 対象： 身体的または知的障害を持った小学生から高校生
- 狙い： 障害を持った子ども達が家族から離れた環境で、ボランティアスタッフと共に1泊2日の期間、共同生活を行なう。その共同生活を通じて協調性、社会性を体験学習する。

- 主な試み
 - グループ活動や共同生活の体験
 - 自然あふれる環境での学習体験
 - 事前研修会の開催
- KIDS予算： 30万円



第16期定期施設訪問の活動計画

- ディレクター： 富岡 和広
- 日時： 通年、6施設に対し、毎月1日ずつの訪問、(2施設に対しては不定期)

- 参加者数： 対象となる子ども約300名、延べ参加ボランティア約700名
- 狙い： 子どもたちとボランティアの継続的交流を通して、子どもたちに対する継続的社会教育を実現する。

- 主な試み
 - 初心者の受け入れ拡大
 - 運営の強化およびサポートの拡充
 - 活動内容の充実・ボランティアのスキルアップ
 - 地域・協賛企業との協調の推進
 - 施設間横連携企画

- 予算： 20万円



第16期全体運営の活動計画

- 運営委員： (理事) 丹野幸敏、山本美樹夫、関口剛、桜井敬貴、富岡和広
(新理事) 桜井祥一、徳久正清、森本 健、深田保志子
(スタッフ) 各プロジェクト・ディレクター
(オフィス担当) 山本弘美

- 日時： 通年

- 活動方針： 「身近さ(仮)」

第16期(2005年度)は内部統制の強化に注力してきましたが、仕組みの是正はほぼ終了しましたので、第16期(2006年度)は実運用面を強化していきます。同時に、「楽しさの見える化」、「参加していない人への動機付け」、「新たな仲間作り」などをキーワードにして、より活動を身近に感じてもらえるような仕組みづくりをしていきます。

- 機能： KIDS全体運営ビジョンの策定、企画計画承認、各種活動実施
推進、資金管理、対外活動、運営諸実務、および運営上の課題対応

- 活動の重点

- マーケティング活動を通じたKIDS活動の楽しさの訴求 外向き
- 「身近さ」を実現するためのプロジェクトチーム(仮) 内向き
- 「身近さ」、「感動」、「楽しさ」を客観的に認知してもらうための「見える化」の仕組み作り
- 「身近さ」を実現していくための団体運営(内部統制)の見直(高度化)

支出

プロジェクト予算

KIDSプロジェクト	200万円
サマースクール	90万円
インターナショナル	240万円
フェローシップ	30万円
体験旅行	30万円
シンポジウム	50万円
定期訪問	20万円

運営費

事務所賃貸料および連絡費など	220万円
オフィス専任スタッフ(パートタイム)	70万円

予備費

50万円

合計 1,000万円

収入

会費収入	10万円
寄付収入	800万円
その他雑収入	0万円
KIDS資産からの充当	190万円

合計 1,000万円

- キャッシュベース
- プロジェクト予算は、参加費収入などを差し引いたKIDS予算
- 寄付収入などが不足する場合、KIDS資産より充当
- その他、新規プロジェクトを実施する場合は別途検討、運営委員会にて決定し、予備費より充当